

LRT（電化）以外の交通モードの検討調査について

1 調査の概要

城端線・氷見線については、令和2年1月にJR西日本から、県及び沿線4市に対しLRT化など新しい交通体系の検討を進めていくことについて提案がなされ、現在、城端線・氷見線のLRT化にかかる事業費の調査を実施中。

今回実施する調査は、事業費の調査と並行し、LRT（電化）以外の交通モードの特色や概算整備費等を把握するもの。

2 調査期間

令和4年12月28日まで

3 調査内容

各種交通モードの検討調査

- ・以下に示す交通モードごとの特色を把握・分析
- ・現在の城端線・氷見線の利用者数を基本として概算整備費を積算
- ・高岡駅において城端線と氷見線を直通化する場合としない場合とに分けて概算整備費を算出。

○LRT（電化）以外の交通モード

- ① LRT(蓄電池式：架線レス)
- ② 新型鉄道車両（電気式気動車等）
- ③ BRT（バス高速輸送システム）
- ④ その他

4 調査費用

予算額 6,000千円（負担割合 富山県1/3、沿線市2/3）